

施政方針の概要

2月27日(火)、平成19年第1回薩摩川内市議会定例会で、森卓朗市長が述べた市政に関する考えや方針の概要を紹介いたします。なお、全文は市ホームページに紹介しています。

●本市をめぐる最近の動き

■子育ての支援

買い物割引などのサービスを受けられる「かごしま子育て支援パスポート事業」を開始し、パスポートを提示すると協賛店での割り引きや乳幼児用器具の無料貸し出しなどが受けられます。

■交通網の整備

南九州西回り自動車道、薩摩川内都心インターチェンジが開通し、併せて、隈之城バイパスが整備され、木場茶屋町から上川内町までの9・3km区間が4車線になりました。今後は、水引町の川内(仮称)インターチェンジまでの10・2kmの早期完成と、川内・阿久根区間の事業化を目指し、強力に要望活動を展開していきます。

■河川の整備

川内川の「河川激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、併せて「川内川水系災害対策連絡調整会議」が発足し、事業の円滑な推

進のため、連携を緊密にしていることになりました。

■介護保険組合の解散

川薩地区介護保険組合は、3月31日で解散します。

これは、広域組織で対応するより、市町で業務を行う方が窓口が一本化され、より住民サービスの向上になると判断しました。

■本市東京事務所の開鎖

市政発展に大きく貢献した東京事務所は3月末で閉鎖しますが、これまで築き上げた人的ネットワークを、これからも最大限に活用していきます。

●平成19年度施策の概要

第1次総合計画の上期基本計画に沿って、「市民が創り市民が育む交流躍動都市」の実現に向け、所要の施策を展開します。

■薩摩川内一体化躍動プラン

(重点施策)の展開

【地域力再生プロジェクト】

子育てに関する支援などを行う「つどいの広場事業」、3歳未

満児の医療費無料化および甌島以外で妊婦検診を行うときの交通費の一部を助成する「こしき子宝支援事業」を実施します。

【都市力創出プロジェクト】

定住対策は、よかまち・きやんせ倶楽部の会員確保に努め、定住希望者の相談、支援を行う「おかえり支援事業」、地区コミュニティ協議会などによる「余暇処交流体験モデル事業」を展開します。また、防災・生活安全対策は、「防災行政無線デジタル化事業」に取り組むほか、消防職員・団員を含めた防災関係者への「災害情報メール配信事業」および消防本部・中央消防署庁舎建設に係る地質調査に着手します。

【交流活力創出・都市ブランド力向上プロジェクト】

景観法に基づく景観行政団体となる告示手続きを進めます。

【市政改革プロジェクト】

生涯学習と男女共同参画に関する業務をコミュニティ課に統合し、市民との協働体制を強化します。また、「自治基本条例」の制定について本格的な検討を進めます。

■このほかの重点施策

「二体化躍動プラン」を基本として、さらに優先的に次の6項目の施策を展開します。単年度限りで取り組まず、平成20年度

以降も着実に推進していきます。

- ①地域力・都市力を最大限に引き出し活用する施策の推進
- ②市民の能力を生かした協働のまちづくり
- ③人口減少時代への対応
- ④社会的弱者への対応
- ⑤本市を支える人材育成
- ⑥災害に強い安全なまちづくり

■主な新規施策など

重点施策のほかに総合計画に定めている八つの基本方針の主な新規事業などを紹介します。

【コミュニティを活かし

地域力を育むまちづくり

地区コミュニティ協議会などが主体となつて行う防犯の取り組みや、特色ある地域づくり活動、相互の交流活動などへの支援を行い、高齢化率が極めて高い地区コミュニティセンターに小型エレベーターを設置するなど、コミュニティ活動拠点施設整備を進めます。

【健康で共に支え合うまちづくり】

甌島の各診療所の医療機器の更新など、また、地域包括支援センターの機能強化を図ります。新たに、70歳以上の方を対象に、公共交通機関や公衆浴場などの利用に助成する「高齢者おでかけ支援事業」を実施するほか、本市で弓道、インディアアカ、将棋が開催される「ねんりんピック

鹿兒島2008」に向けて準備を進めます。

さらに、障害福祉サービスや、知的障害児通園施設支援サービス、児童デイサービスなどの提供を受けた場合に負担する利用料などに助成を行います。

【地域の特色を活かした

教育・文化のまちづくり

将来を担う子どもたちの大きな夢をはぐくむ機会となつている「薩摩川内元気塾」、「小中一貫教育特区」、「小学校英語教育」などの取り組みを引き続き展開するほか、中学生の英語検定の受検料補助を行う「英語力向上プラン事業」は、市内中学生の93%以上が受検し、県が毎年1月に実施する基礎・基本定着度調査における英語の学力向上につながっており、本年度も継続します。また、中学校区を構成単位とした「外部評価委員会」を試行的に設置するほか、家庭教育学級を市内すべての保育園、幼稚園、小・中学校に開設し、親が視野を広げ、社会性を向上することを通じて子育てに生かす「家庭教育学級」親の育ちが子の育ち推進事業に取り組みます。

市民歌の制定方法などの検討を行う「市民歌制定委員会」を設置するほか、8月にはNHK夏期巡回ラジオ体操「みんなの体操